

あなたとつくる いわきの新聞

紙面から
2面 「究極の音」で一体感
3面 新鮮魚介で定番も創作も
4面 古いげた箱キャンパスに
4面 馬の数で知るにぎわい

福島民友

THE FUKUSHIMA MINYU

いわき特別版

第30号

2015年(平成27年)

2月15日(日曜日)

身近な情報をお寄せください

編集・発行／福島民友新聞社

電話 0246③2988 F A X 0246③2246

電子メール iwaki.chiiki@minyu.jp

©福島民友新聞社 2015

わがマチ自慢

元気な掛け声 店名に

恒田駅の改札を出るとすぐ目に留まるのが「ドンワッセうえだ」＝写真。オーナーは金子佳央さんだ。6年前にオープンした店の名前は、いわき踊りでの掛け声「ドンワッセ」から付けたという。

いわき踊りの元気な掛け声が印象に残り、植田町を元気あふれる町にしたいという願いが込められている。店内には地元で採れた野菜や総菜、菓子などが数多く並び、野菜は全て放射能検査がされている。生産者の名前がラベリングされ、店内の壁にはその人たちの写真も張られている。

来店する人の割合は年配の人が多いため、「いつまでも元気に来店していただきたい」というのが店の願い。市民の大切な交流の場となっている。

(国井綾香)

事務局
地晴子代
の団体の
共催で
も尽力し
ーとし

子育て支援活動に尽力

元気満々
いわき人

「4月から国や市による子どもや子育てに対するサポート制度の充実が図られ、支援団体として行政、市民の期待に応えられる活動に取り組みたい。子どもや親への手厚いサポートも大切だが、さまざまな苦労に直面しながら活動する子育て支援従事者へのサポートも考えてほしい」と話す。

持ち前の行動力を生かし、「うつくしま地球温暖化防止活動推進員」として、福島県の復興を担う子どもたちの生活環境保全活動などにも積極的に取り組んでいる。

(遠藤崇広)

ての一面を持ち、子育て世代へのマネープランをはじめ、セカンドライフプラン設計のアドバイスなども行っている。

「はまらっせキッチン」が1月25日、平薄磯の丸又蒲鉾で開かれた。NPO法人日本臨床研究支援ユニット東日本大震災被災住民支援プロジェクトきぼつとぎすの主催、市社会福祉協議会などの共催。食を通じて心と体の健康を目指すことが目的。地区住民らが参加した。東京の中国北京料理「天厨菜館・天王洲アイランド」元料理長の山野辺仁さんと、同ユニット理事を務める女優石井苗子さんによる

料理教室が行われた。油を控えて作る鳥料理、みなどで集まっておいしく食べられる鍋料理、指先を使って作るシューマイなど、健康的な食生活が送れる中国料理メニューを実演、紹介した。高齢者の健康の向上や介護予防を目的に、栄養・健康相談、自立神経機能や骨密度の測定、リラクゼーションヨガ教室なども行われ、参加者は自身の健康状態も確認した。

(遠藤崇広)

食で健康に 中国料理教室



山野辺さんと石井さんの楽しい掛け合いで進められた料理教室

住宅型・介護付併設の
有料老人ホーム

感謝の郷 いわき

それぞれご希望にあった入居プランをお選びいただけます。
短期プランが好評です!! 1ヶ月からご入居できます。



有料老人ホーム感謝の郷いわきでは、見学会を開催中です

ゆとりの空間と天然温泉のある生活で、豊かな日々を演出します

アットアップ
キッチンから、笑顔をつくらう



▲居室(Bタイプ・51.00㎡)



▲大浴場(1F)



▲理美容室・歯科診療室



▲展望風呂(6F)



▲露天風呂(1F)



▲図書コーナー



▲サークル室



▲リラクゼーションコーナー

お問い合わせ・資料請求先

0120-010017

住宅型有料老人ホーム さくら館
介護付有料老人ホーム しらゆり館

